



全国大会出場を報告 レノヴェンスオガサ FC

JCY インターシティトリムカップ (U-15) 2026 大会に出場するレノヴェンスオガサ FC の皆さんが8月5日、市長を表敬訪問しました。当日は、同チームに所属する市内中学生6人が訪問。副主将で滝沢第二中学校3年の平野心翔さんは「チームの決め事を守り、1つでも多く勝てるよう最後まで全力でプレーしていきます」と意気込みを語りました。



包括連携に関する協定 岩手日報販売センターと

市と岩手日報販売センターは8月3日「包括的な連携に関する協定」を締結しました。協定の内容は、支援を必要とする人の見守りや道路損傷などの情報提供に関することなど全6項目です。同センターを代表し西部センター（土沢）の山崎龍雄所長は「本協定に基づき、市の安全・安心のため協力できればうれしく思います」とあいさつしました。

3人に委嘱書を交付 地域の安全・安心のため

市交通指導員と市少年補導員の委嘱書交付式が8月5日、市役所で行われました。

当日は、市交通指導員として委嘱された巣子自治会の柳平國男さんと滝沢ニュータウン自治会の高橋正樹さん、市少年補導員として委嘱された南一本木自治会の角掛利樹さんの3人に委嘱書が交付されました。委嘱期間は8月1日から令和10年3月31日までです。



人権啓発活動たたえ 退任人権擁護委員に感謝状

退任人権擁護委員に対する感謝状贈呈式が8月4日、市役所で行われました。今回は、前人権擁護委員の山本美喜子さんと吉田香菜子さんへ法務大臣感謝状が贈られました。贈呈式には山本さんが出席。県人権擁護委員連合会の加藤彰副会長から感謝状を受け取り、贈呈後には盛岡地方法務局の後藤智志人権擁護課長から感謝の言葉が述べられました。

滝祭 2026 で活用を 小林精機が協賛金を寄付

(株)小林精機から8月24日、市に100万円の寄付がありました。これは、8月29、30日の両日に開催された「滝祭 2026 (TAKI-SAI)」での活用に向けて寄付されたものです。贈呈式では、小林要代表取締役社長から市長へ「滝祭をより一層盛り上げ、滝沢の魅力を発信するため、花火の打ち上げに活用ください」と協賛金が手渡されました。



放つ一矢に思い込め 岩手弓道ジュニア全国へ

第23回全国中学生弓道大会JOCジュニアオリンピックカップ大会に出場する岩手弓道ジュニアの皆さんが8月6日、副市長を表敬訪問しました。当日は、同チームに所属する滝沢中学校3年の井上護太さんと滝沢第二中学校2年の伊藤こよりさんが訪問。井上さんは「日頃の練習の成果を発揮できるよう精いっぱい頑張ります」と決意を述べました。



地域おこし観察日記 10月号

～隊員2人による交換日記～

氏名：大瀧 雄二隊員

有害鳥獣の利活用をメインミッションとして活動しています。



地域おこし協力隊の大瀧です。8月はヤギによる除草能力の検証を行いました。

まだ、ヤギが小さいため獣の忌避効果の検証はできておりませんが、食欲が旺盛なことから、除草による農業支援には有効なのではと感じている今日この頃です。

現在 SNS はやっていませんが、そうした様子を発信していけたら面白いかなと思います。

◆次号の隅谷百葉隊員へ一言！

仕事の幅が増えてきましたね。

ぶどうやヤギの他にも活動の幅が増えたら良いですね。



初の全国へ一球入魂 不知火バレーボールクラブ

第29回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会岩手県大会男子の部で優勝し、JVA第29回全国ヤングクラブバレーボール大会に出場する不知火バレーボールクラブの皆さんが8月10日、市長を表敬訪問しました。主将で一本木中学校3年の深澤皇太さんは「初の全国大会なので、しっかり結果を残せるよう、楽しみながら頑張りたい」と話しました。